

授業科目 臨床検査総論 II

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 一般臨床検査の各検査法の臨床的意義、原理、注意事項などを主に学ぶ。これより、臨床検査診断における一般臨床検査データの評価ができるように努める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 尿沈渣の検査方法について説明できる。 2. 各種の尿沈渣成分の判定とその定量的表現について学ぶ。 3. 糞便中にみられる成分の同定方法と臨床的意義について学ぶ。 4. 脳脊髄液検査の臨床的意義と検査方法について説明できる。 5. その他の体液成分の検査方法と臨床的意義について学ぶ。 6. 一般検査データの評価をする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	尿沈渣検査の採尿法・標本作製法・鏡検方法			1	講義
2	尿沈渣成分の分類と表現方法			1	講義
3	尿沈渣の有機成分について			2	講義
4	尿沈渣の無機成分について			2	講義
5	尿沈渣のその他の成分、定量検査法、自動分析装置			2	講義
6	尿沈渣のまとめ			1-2	講義
7	糞便検査（潜血反応、虫卵直接・集卵法、食物残渣）			3	講義
8	脳脊髄液検査			4	講義
9	胃液・十二指腸液・喀痰の検査			5	講義
10	穿刺液（関節液、胸水、腹水、心嚢水）検査			5	講義
11	精液検査			5	講義
12	CAPD 排液検査、結石検査、羊水検査			5	講義
13	その他の体液検査			5	講義
14	臨床検査総論データの評価			6	講義
15	臨床検査総論のまとめ			1-6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査講座 臨床検査総論 第3版	三村 邦裕、鈴木 敏恵、宿谷 賢一 他	医歯薬出版株式会社	2013・3,200円
参考書		尿沈渣 第5版 標準臨床検査学	長濱 大輔 伊藤機一、松尾収二	文光堂 (株)医学書院	1997・4,000円 2013・3,000円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験(90%)、小テスト(10%)			【履修上の留意点】 一般検査技術に関する基本的な知識を習得するので、確実に理解する。		